

7 二条大麦（大規模借地）

1 前提

該当する地域	県下全域 平坦～中山間
設定した経営規模	水田面積11.4ha、水稲8.0ha、大豆4.0ha、麦4.0ha 水稲作業受託 延べ4.5ha（育苗、耕耘・代かき、移植、防除、収穫）、大豆作業受託 延べ3.5ha（播種、除草剤散布、防除、収穫）
自家労働	1.5人
その他	①作付体系 1年2作 ②中型機械化体系 ③自家育苗、乾燥調製はライスセンター利用

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		————□□□□———— ○○○○————											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
格納庫	木造	75 m ²	4,690,500	17	781,750	781,750	15	52,117	8	364,817	100	14,593
トラクタ	30ps	1.0 台	2,371,000	17	395,167	395,167	7	56,452	4	169,357	100	6,774
自脱型コンバイン	4条	1.0 台	4,944,000	31	1,532,640	1,532,640	7	218,949	4	656,845	50	13,137
ロータリ	180cm	1.0 台	652,000	17	108,667	108,667	7	15,524	4	46,571	100	1,863
ブロードキャスター	300 ^{リットル}	1 台	254,000	17	42,333	42,333	7	6,048	4	18,143	100	726
草刈機	肩掛け式	1.0 台	50,000	20	10,000	10,000	5	2,000	3	4,000	100	160
溝掘機	ロータリー式	1 台	399,000	45	179,550	179,550	7	25,650	4	76,950	100	3,078
大豆麦播種機	6条	1 台	642,600	45	289,170	289,170	7	41,310	4	123,930	100	4,957
ブームスプレー	520 ^{リットル}	1 台	1,363,500	20	272,700	272,700	7	38,957	4	116,871	100	4,675
サブソイラー	1条	1 台	141,000	45	63,450	63,450	7	9,064	4	27,193	50	544
動力散布機	背負い式	1 台	137,550	15	20,633	20,633	7	2,948	4	8,843	100	354
軽トラック	660cc4WD	1 台	850,000	15	127,500	127,500	4	31,875	2	63,750	100	2,550
合計			16,495,150		3,823,559	3,823,559		500,893		1,677,270		53,410

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
二条大麦	アサカゴールド	条播	317kg	10～30a 区画	3.0ha

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準		10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土壌改良資材 散布	10/中	苦土石灰	100kg	トラクタ・ブロード キャスター	○土壌分析により必要な土壌改良資材 を散布する。	0.2	1.0	0.4	軽油 0.5
畦畔草刈り	10/中			草刈り機		0.5	1.0	0.6	混合 0.6
耕起	10/中～10/下			トラクタ・ロータリー	○砕土率を高めるため、丁寧に行う。	0.3	1.0	0.5	軽油 2.2
排水対策	10/下～11/上			トラクタ・溝掘機 トラクタ・サブソイラー	○額縁明渠を作溝する。 ○本暗渠に直交して4m間隔にサブソイラー で補助暗渠を施工する。 ○補助暗渠は額縁明渠に直結する。	0.2	1.0	0.3	軽油 0.9
								1.0	0.2
基肥散布	10/下	尿素	25kg	動力散布機		0.3	1.0	0.4	混合 0.3
種子消毒	10/下	ベフラン液剤25	40ml		○ベフラン液剤25を種子塗沫する。		1.0	0.1	
整地・播種	11/上～11/中			トラクタ・ロータリー シーター	○播種量は10kgとなるよう調整する。	0.4	1.0	0.7	軽油 2.6
除草剤散布	11/上～11/中	クリアターン乳剤	600ml	ブームスプレー	○10a 当たり100リットルに除草剤を 溶解して散布する。 ○播種後速やかに散布する。	0.2	1.0	0.6	軽油 0.7
排水管理	11/中～11/下			トラクタ・溝掘機	○5m間隔に明渠を作溝する。	0.1	1.0	0.3	軽油 0.5
追肥	12/下～1/上	NK化成C12号	7kg	動力散布機	○播種後40～45日を目安に散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
排水管理	1/中				○排水溝の手直しをする。		1.5	0.3	
穂肥散布	2/中～下	NK化成C12号 "	20kg 15kg	動力散布機	○(穂肥1回目) 幼穂長2～4mmの時に 10a 当たり20kg散布する。 ○(穂肥2回目) 1回目の10日後に10a 当たり15kg散布する。	0.2	1.0	0.3	混合 0.2
						0.2	1.0	0.3	混合 0.2
病虫害防除	4/中	シルバキュアフロア	1000倍液	ブームスプレー	○出穂期に10a 当たり100リットルを 散布する。	0.2	1.0	0.6	軽油 0.7
畦畔草刈り	5/中			草刈り機		0.5	1.0	0.6	混合 0.6
収穫	5/下～6/上			自脱型コン バイン	○水分が25%以下となった時期を目 安に収穫を始める。 ○抜胴の回転数は400rpm以下とする。	0.3	1.0	1.0	軽油 1.1
搬送	5/下～6/上			軽トラック	○グレンバッグにより搬送する。	0.1	1.0	0.2	ガソリン 0.9
合 計								8.0	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	25,208	ビール麦 生産量① : 184 kg 単価② : 137 円/kg	
	主産物価額	2,159	民間流通麦生産量 : 127 kg 単価 : 17 円/kg	
	主産物価額	77	規格外 生産量 : 9 単価 : 9	
	副産物価額④	6,500	麦わら販売	
	計 (A)	33,944		
生産	種 苗 費	4,120		
	肥 料 費	9,505	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	3,768	"	
	諸 材 料 費	0	"	
	動力光熱費	2,348		
	農 具 費	3,053	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	195	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	9,577		
	共 済 掛 金	1,104		
	雇 用 労 賃	552		
	減価償却費⑤	12,522	別表のとおり	
	土地改良費	480		
	支払地代⑥	7,443		
	小計 (B)	54,668		
費	販売費一般	出荷資材費	0	
	管理費	販 売 諸 費	1,516	
		諸税負担金	240	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	556	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	171	借入資本利率2%
		小計 (C)	2,483	
経 営 費 (D)	57,151	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	9,880	農 従 労 働 時 間 : 7.3 生産管理労働時間 0.3 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	60,531	主産物単位当たり 16,449 円/50kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	957	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	1,335	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	623			
全算入生産費 (H)	63,446	生産物単位当たり 17,241 円/50kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	-23,207	時間当たり -3,054 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	-68	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-36,002	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	-26,122	時間当たり -3,437 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-33,087	注) (M) = (I) -⑧		

